

開陽330°

第七号



写真 助産師 三浦有也美

目次

- p2. DMAT 実働訓練報告 p3. 病院のいちにち p4. 看護部活動紹介
p5. 着任・退職医師挨拶 p6. 栄養相談おしながき 病院クイズ

新年度にあたって

町立中標津病院 院長 久保光司

春らしく穏やかな日差しに心和む季節となりました。皆さまには当地域の医療に御協力を頂きまして心より感謝申し上げます。

新年度を迎え、内科医2名、産婦人科医1名、麻酔科医1名が新たに着任しました。当広報誌にて紹介しております。何卒宜しくお願いします。

国内の状況に目を移しますと、地震や豪雨などの自然災害や物価高などの影響もあり、国民の生活には大きな支障が出ております。地域医療も非常に厳しい状況が続いておりますが、私たち町立中標津病院の職員は明るい気持ちを大切に、地域の皆さまの健康を全力で守る所存でございます。

これからも当院に対して変わらぬご指導ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

ディーマツト DMAT実働訓練

を実施しました

DMATとは

災害急性期に活動できる機動性を持った
トレーニングを受けた医療チーム
当院のDMATチームは能登半島地震後
の被災地活動に参加しました。



DMAT実働訓練

令和6年12月21日北海道が主催する実働訓練を中標津町で実施しました。当院からは成澤副院長含むDMAT隊員のほか計13名が参加し、道内各地から支援DMAT隊員約60名前後が参加しまし

訓練想定

- ・ 根室沖を震源とする日本海溝・千歳海溝沿いの巨大地震が発生
- ・ 根室釧路管内で津波による建物被害や多数の傷病者が発生

DMAT活動本部の立ち上げ・運営訓練

当地域に甚大な災害が発生した場合、全国各地から支援DMAT隊がこの地域に集結します。この支援DMATの活動を指揮・管理する拠点となるのが「DMAT活動拠点本部」です。当院のDMAT隊は発災直後に、この活動拠点本部の立ち上げを行い、支援DMATが来るまでの間、活動拠点本部の運営を中心となって行う役割を担っています。

今回は成澤副院長が本部長となり、次々と入ってくるヒト・モノ・情報に対応しながらDMAT活動拠点本部の指揮をとりました。実働訓練を通し、物品の不足等の課題が多いことを痛感し、継続的な訓練の必要性を実感しました。

活動拠点本部の様子↓



トリアージ訓練の様子↓



↑参加したDMATの集合写真

トリアージ訓練

当院のロビーや外来で訓練を実施しました。トリアージとは傷病者が多数発生した場合に、傷病の緊急度や重症度に応じて治療優先度を決めることです。

トリアージした患者さんを赤（重症）黄（中等症）緑（軽症）のブースに分け、外来での処置や入院、転院搬送など、様々なパターンを想定した訓練が実施されました。

当院の参加者は主に事務職員でしたが、受付・災害時カルテの発行・患者一覧の作成・移送補助など日常業務では経験しない業務が多く、平時からの訓練の必要性を再認識することができました。

当院は災害拠点病院のため、災害時には被災した傷病者はもちろん、周辺の病院や介護施設の利用者等も多数来院することが予測されます。今回の訓練を機に、院内での災害に対する取り組みを強化し、有事の際には迅速に対応できるよう、平時から準備を進めていきます。

地域の皆さまにおかれましても、災害物品の準備や避難場所の確認など、日ごろからの準備をお願いいたします。

(DMAT業務調整員 熊倉)

病院の いちにち

第7回 看護部 手術室看護師



病院でそれぞれの専門性を持って働いている職員を紹介する「病院のいちにち」。今回は多くの手術を行う手術室看護師の1日を紹介します。



8:30

始業

ミーティング

朝からたくさんの方が手術が同時に進行するので、患者さんが安心して手術が受けられるように、スタッフ全員で患者情報を共有しています。



8:40

滅菌業務

補充業務

前日に使用した器械の確認を行い滅菌します。滅菌とは、すべての微生物やウイルスを除去することです。

看護助手は、院内で使用した医療器材の滅菌も行っています。

薬剤師と連携し、前日に使用した薬品の確認・補充を行います。

器材や物品の確認を行い、発注依頼・補充を行います。



9:00

手術

手術 (午前・午後)

器械出し看護師：

使用する器械をセッティングし、手術中にすぐ使えるようにします。

担当看護師：

手術室内の環境整備や使用する医療機器、薬品を準備します。

術中→

器械出し看護師：

医師に器機を渡し、手術が円滑に行われるように補助します。

担当看護師：

患者さんが安全に麻酔や手術が受けられるように、全身状態を観察します。手術中の状態は、術後に病棟看護師へ申し送りを行います。



11:30

お昼休憩

手術状況によっては交代で入ります。

手術中↓



↑手術準備に戻る



13:00

手術

↓滅菌前の器械類



術後↓

手術予定の患者さんの病室に伺い、パンフレット等を用いて手術時の流れを説明し、患者さんが安心して手術を受けられるように取り組んでいます。

患者さんが退室後、看護師と看護助手で使用した器械の洗浄や、手術室内の清掃を行います。



16:00

術前訪問

手術準備

手術の症例ごとに、使用する器械や物品、薬品などをまとめていき、翌日すぐ使えるよう準備しています。



16:45

カンファレンス
(月1回)

院内・手術室に関連する情報を手術室内で共有します。検討項目があればその場で議題として挙げ、安全に手術が行われるよう話し合い繰り返しています。



17:15

業務終了

業務終了後も時間外での臨時手術に備え、看護師3名が自宅待機しています。



「せん妄^{もう}」って
聞いたこと
ありますか？



第3回 せん妄の治療とまとめ

看護部長 登紀代美

せん妄とは「急性で一時的な意識障害」、
原因は「環境の変化や薬、痛みなどの
身体的苦痛」とこれまで2回にわたり
お伝えしていました。
最終回は、治療についてお伝えします。



もしせん妄を発症してしまったら…

- 眠れない → 睡眠薬の使用
周囲の光・音の調整
- 痛い・苦しい → 鎮痛薬の使用
- 発熱 → 解熱剤の使用
- 不安 → なじみ感を得られる環境作り
老眼鏡や補聴器の利用

直接の原因と
なっているものが
何か考える

原因が分かったら
それを取り除く

せん妄ケアで大切なことは
患者さんの苦しさや不安を
取り除くことです。
私たち看護師は患者さんが安
全で安心できる環境作りに取り
組んでいます。



News!

おむつマイスター活動中！

おむつマイスターは、花王プロフェッショナルサービス株式会社で実施している認定資格です。当院では 2023 年に 7 名がおむつマイスターの資格を取得し、2024 年は 3 名がおむつマイスターゴールドの資格を取得しました。当院のおむつマイスターは、正しいおむつの当て方や、適正使用推進のため病棟で活動しています。

入院して初めておむつを使う患者さんが多いのではないのでしょうか。普段使用している下着とは違い、不快に感じることもあると思います。体に合ったサイズのオムツを選択し、正しく身につけることで不快感を軽減することができます。おむつでも快適に過ごすことができるように、おむつマイスターは活動しています。

ご自宅でご家族の介護をされていて、おむつの使用にお困りの方がいらっしゃいましたらご相談ください。

看護課長 玉手恭子



↑ 研修の様子 ↓



新しい**医師**が着任しました

- ① 出身大学 ② 卒業年 ③ 前任地 ④ 特技・趣味 ⑤ ひとこと

内科 医長

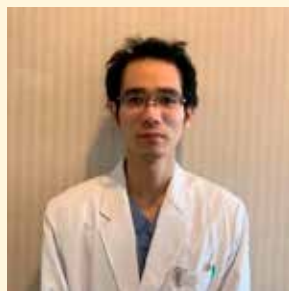
いけだ じゅんぺい
池田 淳平



- ① 旭川医科大学
- ② 2017年
- ③ 森山病院(旭川)
- ④ 合唱
- ⑤ 中標津には縁があり、そこで働くことになり不安や緊張もありますが、その中で精一杯頑張らせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

麻酔科 医長

でむら まさみ
出村 理海



- ① 北海道大学
- ② 2015年
- ③ 釧路労災病院
- ④ 散歩
- ⑤ 皆さまが安心して手術を受けられるよう努力してまいります。

内科 医師

たむら ほ
田村 ゆき穂



- ① 旭川医科大学
- ② 2023年
- ③ 旭川医科大学病院
- ④ 音楽を聴くこと
- ⑤ 地域の皆さまのお役に立てるように頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

産婦人科 医長

いしおか しんいち
石岡 伸一



- ① 札幌医科大学
- ② 1989年
- ③ 札幌医科大学
- ④ 寅さんのようにあてもなく足で旅すること
- ⑤ 一昨年からお世話になってお世話になっていましたが、大学定年を迎え、医師人生のAdditional Timeを貴院でお世話になりました。よろしくお願いいたします。

下記の医師が退職されました

内科 上原聡人先生

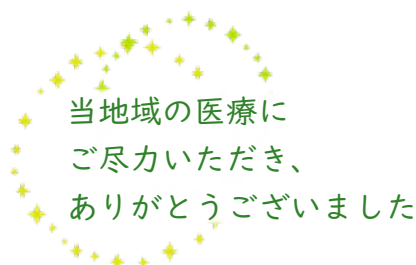
赴任して早3年、あっという間に月日が過ぎました。市民の皆様により良い医療を提供しようと尽力したつもりですので、そう思っただけの患者様が少しでも多ければ幸いです。来年度からは札幌での勤務になりますが、中標津での経験を活かして頑張っていこうと思います。今までありがとうございました。

内科 上原恭子先生

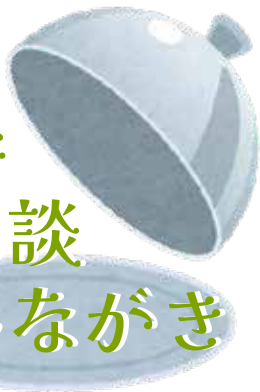
出産育児に伴う休暇をいただきながら、3年の月日を町立病院で過ごしました。医師1人につき、診療する患者様の数が驚くほど多い病院です。できるだけ待ち時間を短くしたいと考えながら、患者様にご負担をかけ続けたことを申し訳なく思っています。さらに道東の医師、看護師不足は深刻さを増しており、今後も引き続きご協力を頂く場面が多いかと思っております。後任の医師含め、努力を続けておりますので、ご理解の程よろしくお願いいたします。私事ですが、4月から札幌にて勤務することになりました。改めて、3年間本当にありがとうございました。

内科 川上ひかる先生

麻酔科 下馬場睦先生



栄養 相談 おしながき



日々の食事でロコモ予防！

加齢や生活習慣により、骨や関節・筋肉・神経に衰えが生じ、移動機能が低下した状態のことを「ロコモティブシンドローム」と言います。
毎日の食事と適度な運動により、健康的な体を維持しましょう。

※Locomotion = 移動

◆ 食事…予防の基本は5つの栄養素 ひとつの栄養素だけたくさん採るのはNG！



主食(ごはん・パン・麺) + 主菜(肉・魚・卵) + 副菜(野菜・海藻・きのこ)の三種類を揃えることを意識して食べましょう。

それぞれの栄養素は相互して働きます。筋肉を維持するためにタンパク質ばかりとっても効果は不十分です。筋肉に蓄えられるエネルギー源になる糖質もしっかりとる必要があります。過度な糖質制限は筋肉の質も低下させてしまいますので、ご注意ください (管理栄養士 井上麻里絵)

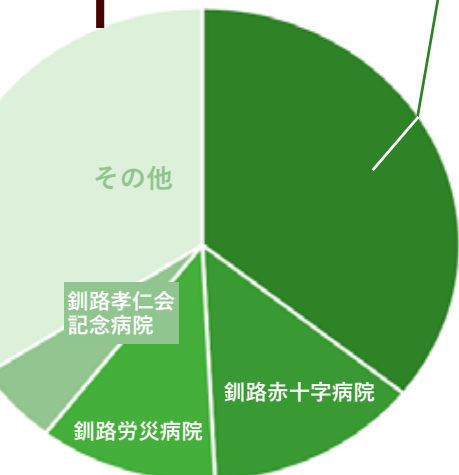
病院の 雑学 クイズ

第6問

Q. 町立中標津病院からの紹介数が多い病院は？

A. 市立釧路総合病院です。

令和5年度の紹介総数 937 件のうち、市立釧路総合病院への紹介が最も多い335件でした。次いで釧路赤十字病院、釧路労災病院、釧路孝仁会記念病院と続き。この4病院への紹介が半数以上を占めています。地域の皆さまが安心して医療を受けられるよう、医療機関同士の連携に努めています。



※令和5年度の外来予約・救急車・ドクターヘリ搬送の件数より集計

編集後記

第7号も無事に発行が叶い、ほっとしています。
広報誌リニューアル以降、院内配布しているものが不足することもたびたびあり、好評の手ごたえを感じています。今後も定期的な発行を目指してまいります。ご意見、ご感想があればお寄せください。

地域医療相談係

発行者

町立中標津病院
〒086-1110
北海道標津郡中標津町
西10条南9丁目1番地1
TEL: 0153-72-8200
FAX: 0153-73-5398